



遠里小野小学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0032 住吉区遠里小野6-6-27		
電話	06-6692-5671	FAX	06-6692-7962
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/e731665		
校長名	林 真美子		
児童数	173名	教職員数	31名
学級数	10学級(うち特別支援学級4)	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

心豊かに、たくましく生き抜く子どもを育てる

校長メッセージ

遠里小野は「住吉の遠里小野の真様もち摺れる衣の盛りすぎ去く」と歌われる万葉由来の伝説・文化があふれる地域で、遠里小野小学校は今年創立89年を迎えます。学校の南側には大和川が流れ、すぐ西には熊野街道が通っています。校区は落ち着いた静かな住宅地で、登下校の見守り活動をはじめ学校図書館ボランティア活動など、保護者や地域の方々にしっかりと支えられて、子どもたちは穏やかに学校生活を送っています。また学校は、地域の方々が心豊かに楽しく学び、生きがい創造する生涯学習や学校体育施設開放による人々の交流の場としても活用されています。

本校の一番の特徴は、縦割りの異学年交流です。1年生から6年生までの全員を縦割りで4色のチームにして、それを班に分け、全校遠足や児童集会で縦割り班として活動します。上級生は年長としての自覚をしっかりと持ち、チームをまとめることや模範となることの大切さを学び、下級生は先生や保護者以外の身近なお兄さん・お姉さんから集団生活のルールを学びます。

また、地域の方々の大きな応援を得て、運動場を全面芝生化していただき12年目となりました。校庭の芝生化によって、児童の身体能力の向上や健康に効果が発揮されること、また夏の気温の上昇を抑え、ストレス反応を軽減させるとの研究調査の結果があり、子どもたちは一年を通してのびのびと運動に取り組むことができます。

学校協議会会長メッセージ

「芝生の運動場」の遠里小野小学校では、運動会等学校行事のお手伝い、学校図書館ボランティア活動「としよぼさん」、踏切や交差点での交通安全対策「声かけ隊」などに、学校・保護者・地域が一体となって活動しています。

今後も当校の発展と子どもたちの安全・健康・教育により一層の努力をしていきます。これからも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象：令和7年度の小学6年生)

【平均正答率(%)】

国語	算数	理科
62	52	54

【教科調査からわかったこと】

【国語】全体の平均正答率は全国平均・大阪市平均を下回った。各領域の平均正答率においても、全ての領域で全国平均・大阪市平均を下回った。特に、「話すこと・聞くこと」においては大きく下回っており、課題を残している。この課題の改善を図るとともに、学力向上を図るために、「学力向上支援チーム事業」と連携し、今年度の研究に取り組んでいる。

【算数】全体の平均正答率は全国平均・大阪市平均を大きく下回った。各領域の平均正答率においても、全ての領域で全国平均・大阪市平均を下回った。特に、「図形」では平均正答率が50%を切る結果となり、課題を残している。

【理科】全体の平均正答率は全国平均・大阪市平均をやや下回った。各領域の平均正答率においては、「エネルギー」「粒子」を柱とする領域で大阪市平均を上回った。しかし、一方、「生命」「地球」を柱とする領域で全国平均・大阪市平均を下回った。

【質問紙調査からわかったこと】

質問調査全般で、肯定的な回答において「当てはまる。」よりも「どちらかといえば当てはまる。」を選ぶ傾向が強く、遠里小野小学校の多くの児童が抱える自信のなさが顕著に表れている。自信のなさから伺える『力はあるが、力を発揮できない。』児童の実態を変化させるためにも、教育活動全般において児童の確かな自信の確立に向けた実践の構築が急務の課題である。

▶▶ 運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(朝食を毎日食べること)」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学習者端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考者、漫画や雑誌は除く)。」に対して、「読書を全くしない。」と回答する児童の割合を10%以下にする。

① 縦割り班活動

本校の1番の特色は縦割り班活動です。縦割り班活動では1年生から6年生を4色(黄・青・緑・橙)に分け、異学年交流を行っています。異学年交流を通して、低学年には上級生への憧れを、高学年には下級生への配慮の気持ちを育てています。

縦割り班活動は、毎週木曜日の児童集会を中心に、全校遠足「ハッピーレクレーション」や「おりおのフェスティバル」など教育活動全体を通して行っています。そして、児童のつながりを広げ、児童全員が仲の良い学校を目指しています。

② 学校行事

4月	1年生を迎える会	5月	春の遠足	6月	おりおのフェスティバル
9月	5年一泊移住	10月	全校遠足 運動会	11月	6年修学旅行
12月	6年卒業遠足	1月	マラソン大会	2月	作品展
				3月	卒業生を送る会



1年生を迎える会



春の遠足



おりおのフェスティバル



5年一泊移住



全校遠足



6年修学旅行



6年卒業遠足



マラソン大会



作品展



卒業生を送る会

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象：令和7年度の小学5年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	14.64	20.93	29.29	38.93	38.64	9.90	149.07	21.46	49.85
女子	15.33	18.22	33.56	36.33	35.78	10.27	135.22	13.44	51.11

遠里小野小学校では、令和2年度から『体力強化月間』を定め、体力の向上に取り組んでいる。令和7年度はドッジボール(11月～12月)、短縄・大縄(1月)、マラソン(2月)の取組を行った。これらの継続した取組により、ソフトボール投げ(巧緻性・筋力)ではある一定の成果が表れたと言える。

しかし、体力テストのほとんどの実施種目で全国平均・大阪市平均を下回った結果をみると、体力向上の取り組みの成果(持久力・素早さ)が十分に表れているとは言えない。令和7年度の結果を分析し、体力向上の取り組み内容や実施方法の検討を行っていく必要がある。また、運動量の確保を念頭に置いた体育科の授業の構築も急務の課題である。